

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
地理歴史 ・ 地理総合	3年 音楽コース	1	高等学校新地理総合 （帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）	高等学校新地理総合ノート（帝国書院）
科目の概要と目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 教科書や資料集を用いて基本的な知識の定着を図るとともに、地理的な見方や考え方を培う。 地図・資料・データからその特徴を読み取り、課題を見つけて多角的に考察する。 			
評価の観点と方法	科目の目標がどの程度達成されたか、また、目標達成に向け自主的・積極的に取り組んだかを次の観点から評価する。 ①授業への取り組みでは、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ②定期考査では、科目の到達目標を踏まえた問題で、「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。 ③課題、小テストでは「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。			
	学期	単元・学習項目	学習内容・到達度目標	
年間授業内容	1学期	第3部 持続可能な地域づくりと私達 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 2節 地震・津波による災害 3節 火山災害と防災 4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え 第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望	3部 【第1章】 ①我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。 ②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 【第2章】 ①生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 ②生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ③生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	
	2学期	2, 3学期は地理探究を履修する		
	3学期			